

(公財) 武蔵野市国際交流協会 (MIA) 地域における国際理解の推進事業

学生・参加者募集！オンライン (Zoom) 開催！

MIA 学生のための国際理解講座



多文化共生のまちづくり、私たちが暮らす地域や世界のことなどについて、ゲストスピーカーからお話を聞き、どのような社会的課題があるのか、一人ひとりに何ができるか、気づき、考える、学生向けのイベントです。お気軽にご参加ください。



日時	テーマ	ゲストスピーカー
10月9日(土) 14:00-15:30	これからのグローバル人材に大切な視点～外国人と共に働く／異文化コミュニケーションのポイント	エンピ カンデルさん (UNIBIRD 株式会社)
10月16日(土) 14:00-15:30	多文化共生の社会づくりに向けて ～多言語対応の課題と可能性	カブレホス セサルさん (ランゲージワン株式会社)
10月23日(土) 14:00-15:30	やさしい日本語とスマホアプリの活用 ～コミュニケーション・国際交流の可能性を広げよう	萩元 直樹さん (やさしい日本語×多言語 音声翻訳プロモーター)

【対象】テーマ・プログラム内容に関心がある大学生・大学院生・専門学校生など

【参加費】無料

【定員】各回 15名 (先着順)

【参加方法】参加者のPC・スマホ・タブレット等にて
(インターネット環境があるご自宅等)

【申込】各回の開催日の3日前までに MIA ホームページよりお申し込みください。

興味があるプログラムのみの参加申込OKです

<注意事項>

- ※1 コロナウイルス感染防止のため、オンライン・Zoomで行いますので、あらかじめ Zoom が使用できる状態でご参加いただきますようお願いいたします。
- ※2 イベント前日までに、Zoom 参加情報 (ミーティング ID・パスワード等) をお知らせします。
- ※3 イベント参加時に、顔出しをお願いする場合があります。予めご了承ください。



お申込み・お問い合わせ:

公益財団法人武蔵野市国際交流協会 (MIA)

東京都武蔵野市境 2-14-1 スイング 9F

(JR 中央線武蔵境駅 nonowa 口 / 北口徒歩 1 分)

TEL: 0422-36-4511 URL: <https://mia.gr.jp>



10月9日（土）14:00-15:30

これからのグローバル人材に大切な視点

～外国人と共に働く／異文化コミュニケーションのポイント

様々な場面でグローバル化が進み、日本人と外国人と一緒に学んだり、コミュニケーションをはかることが身近になってきています。外国人を採用する企業も増え、日本人と外国人と一緒に働くことも当たり前になりつつあります。たくさんの外国人や留学生の就職支援をしてきたエンピさんの経験から見えてきた『グローバル人材』になるためのコツを紹介します。多様な文化・価値観をもった人と働くこと、異文化コミュニケーションを行う上で大切な視点について参加者のみなさんと共に考えたいと思います。

ゲストスピーカー：エンピ カンデルさん（UNIBIRD（ユニバード）株式会社）

ネパールから留学生として来日。学生時代、ボランティア、国際交流、読書など様々なことにチャレンジ。大学卒業後、留学生の生活や就職活動をサポートする会社に勤務。その後、UNIBIRD 株式会社を創業し、国内外の企業・政府機関・自治体・教育機関を対象に外国人採用のコンサルティングを手がけている。

10月16日（土）14:00-15:30

多文化共生の社会づくりに向けて～多言語対応の課題と可能性

言葉ができない、わからない中、日本で暮らす外国人はどのような困難さに向き合っているのでしょうか。外国人住民のコミュニケーションや情報入手の課題解決に向けて、どのような取り組みがなされているのでしょうか。ランゲージワンの取り組みを通じて得た経験についてセサルさんからお話を伺い、多文化共生社会や地域の課題を知り、学生のみなさん一人ひとりに何ができるか、気づき、考えていきたいと思います。また、異文化間ギャップやジレンマに直面する外国人に対して何ができるか、どう寄り添えるか、考えます。

ゲストスピーカー：カブレホス セサルさん（ランゲージワン株式会社）

スペイン語・ポルトガル語通訳者。ペルーの首都リマ出身の日系ペルー人。幼少期に家族と共に来日。親の仕事の関係で様々な土地で暮らす。現在、多言語通訳コールセンターや行政・教育・災害時等の遠隔通訳をサポートするランゲージワンに勤務。民間企業の立場から多文化共生の社会づくりに貢献している。

10月23日（土）14:00-15:30

やさしい日本語とスマホアプリの活用

～コミュニケーション・国際交流の可能性を広げよう

やさしい日本語とは、簡単な言葉を使うなど、母語が日本語でない人をはじめ、誰にとってもわかりやすいように表現を工夫した日本語です。外国人、高齢者や障がいのある方、子どもたちなど、情報を得ることが難しい方々への情報提供やコミュニケーションに効果があると期待されています。行政窓口、災害時、医療、まちづくりなど様々な場で活用が広がっています。多言語翻訳スマホアプリを活用するとコミュニケーション・国際交流の可能性がさらに広がります。多文化共生社会を見据え、やさしい日本語やICT 活用の可能性についてご紹介します。

ゲストスピーカー：萩元 直樹さん（やさしい日本語×多言語音声翻訳プロモーター）

ソーシャルエドゥケーター。元多言語対応協議会事務局勤務。元自治体職員。市役所の市民協働系の部署にて多くのワークショップを運営。団体の新規立上げ、市民と共に地域課題の解決に向けてまちづくりに誰もが関われる地域作りに尽力。全国初の取組み「やさしい日本語×多言語音声翻訳」ノウハウが注目される。